

わが町、島本町 ～地域社会との協働～

医療法人 清仁会 水無瀬病院 リハビリテーション部

○大沼佳代子(ST)、植あゆみ(OT)、倉橋利成(ST)

【はじめに】

- 回復期リハビリテーション病棟は、在宅へのスムーズな移行が求められている。
- 介護力の量や環境因子は、在宅生活の継続に影響する、大きな要因となる。
- 少子高齢化、ひとり暮らしの増加により、障がい者を、介護医療施設から地域移行する事の強化が求められている。

【目的】

- 病院スタッフが、介護・医療保険サービス以外の、高齢者対象の地域サービス（以下サービス）や活動を活用する事は、退院後の生活に影響を与えると考えた。
- 当院リハビリテーション部スタッフにおける高齢者・障がい者に対するサービスについての、現時点の認知度と、実際の活用度、意識の調査を行い、今後のサービス提供内容の改善へ活かしたいと考えた。

【当院の概要】

大阪府島本町

総人口：30,760人

▶ 高齢者(65歳以上)人口7,969人

高齢者率25%[平成26年12月1日現在]

水無瀬病院は島本町で唯一の病院



床数117床：一般60床、回復期病棟40床、地域包括病棟17床



整形外科、脳外科、脊椎・脊髄科、外科、形成外科、泌尿器科、糖尿病・生活習慣病眼科、麻酔科

【調査方法】

対象:

リハビリテーション部スタッフ、計45名。

PT22名、OT16名、ST7名（経験年数:1～13年目）

訪問リハ出向:PT68% OT37% ST28%

方法:

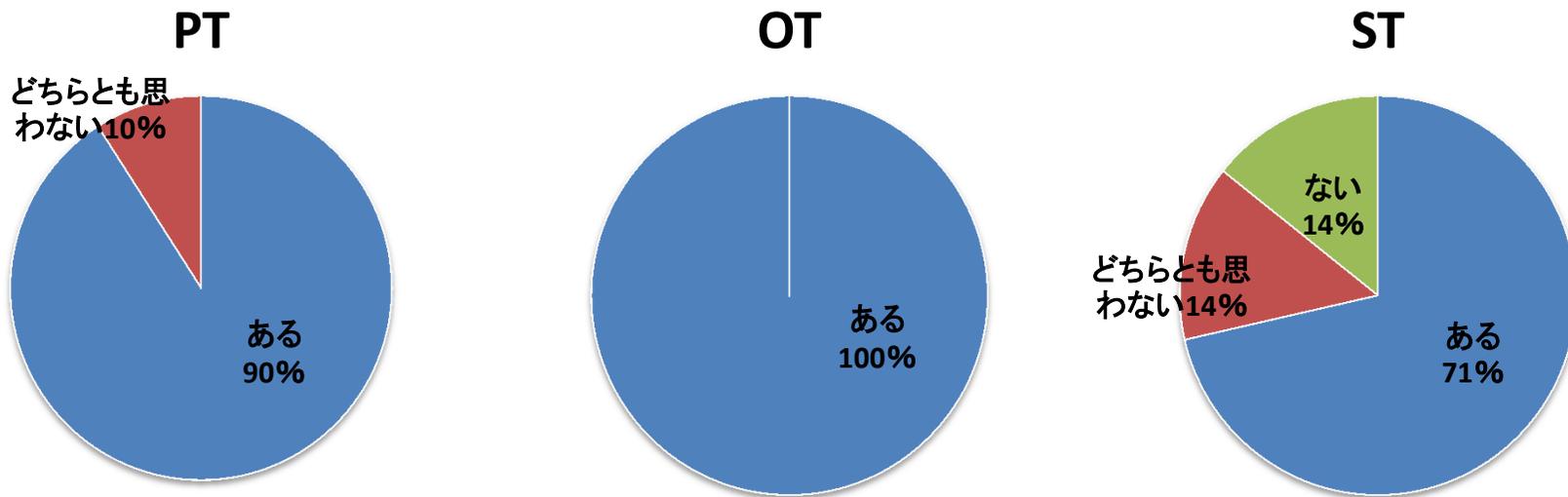
介護保険を用いない島本町のサービスについての意識調査をアンケート形式にて実施。

（H25. 5 実施8項目）

【内容・結果①】

地域にどのようなサービスがあるのか、興味はありますか？

「興味ある」→91%

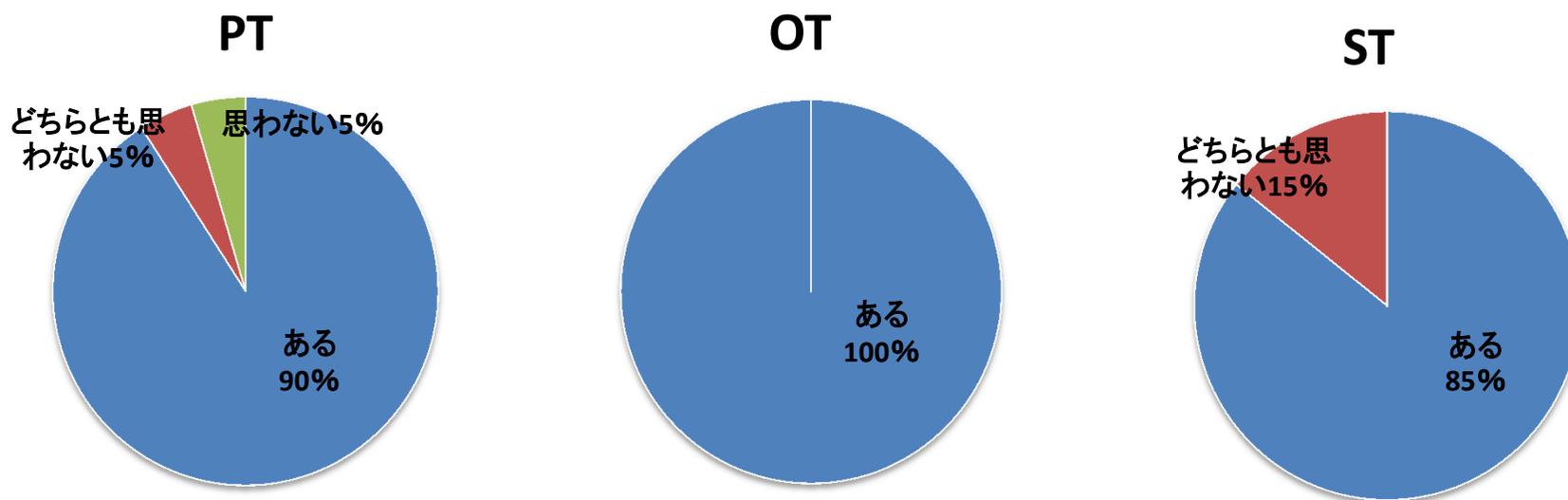


「ない」「どちらとも思わない」と答えた人の
経験年数は3～9年目だった。

【内容・結果②】

あなた自身の職種から、患者様にこのようなサービスの提示を行なっていく必要があると思いますか？

「思う」→ 93%



**「思わない」「どちらとも思わない」と答えた人の
経験年数は3～9年目だった。**

【内容・結果③】

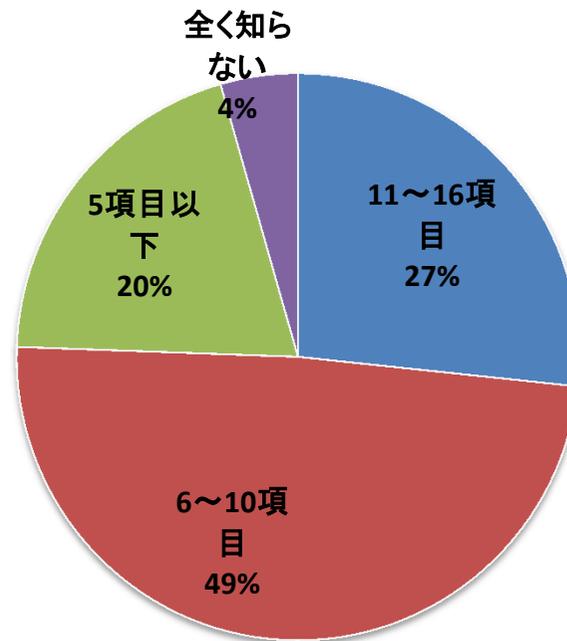
地域サービス16項目について、
知っているものに○を付けて下さい。

地域サービス16項目

紙おむつ給付事業	巡回訪問サービス	街かどデイハウス事業	いきいき百歳体操
配食サービス	生活管理指導宿泊事業	日常生活用具の給付等	各種教室
会食サービス	軽度生活援助事業	水道料金の助成	寝具水洗いサービス
緊急通報装置設置事業	移送サービス助成事業	家族介護慰労金	訪問理容サービス

【内容・結果④】

地域サービス16項目について、
知っているものに○を付けて下さい。

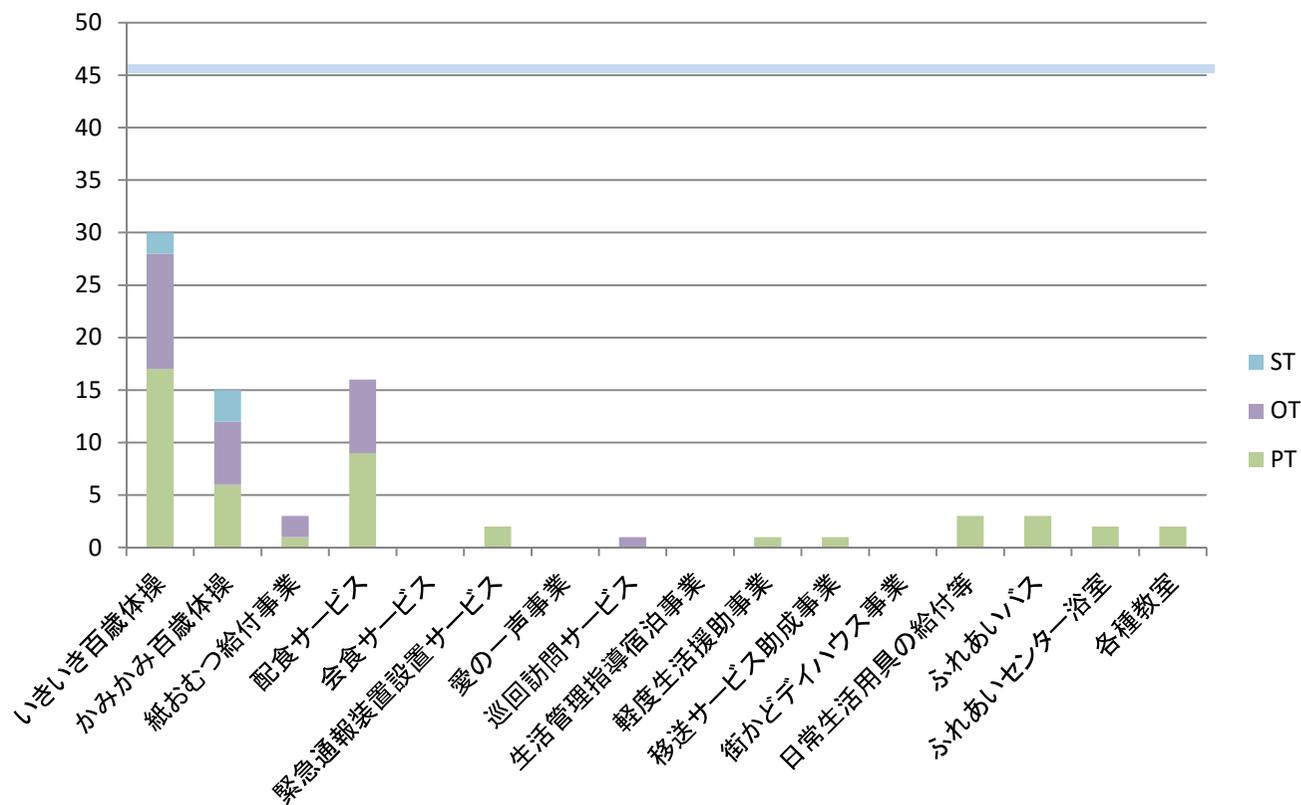
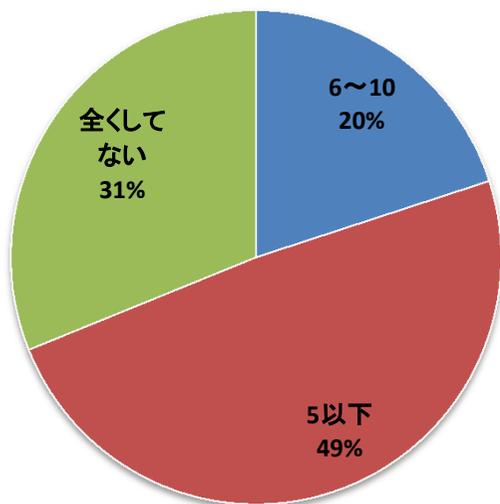


職種に関係なく、経験年数に比例して、知ってる項目が多くなる傾向がみられた。

【内容・結果⑤】

地域サービス16項目について

「一度でも紹介した事がある」→69%



【結果のまとめ・考察①】

- 多くのスタッフがサービス提示の必要性は感じているが、実際の提示内容には偏りが見られた。

(いきいき百歳体操以外のサービスはあまり提示していない。)

⇒ サービスの具体的な知識がない事が、偏りの原因と考えた。

【結果のまとめ・考察②】

- 興味・紹介の必要性を感じていないスタッフの共通点は訪問リハビリの経験がなく、経験年数の長さとは関係がなかった。
- 実際に提示を行なっているスタッフの共通点は、職種・経験年数に関係なく、訪問リハビリの経験が2年以上だった。

➡ 在宅リハの経験が、知識向上・必要性を意識するきっかけに繋がっていると考えた。

【結果のまとめ・考察③】

- 興味・紹介の必要性に対する意識は、OTが一番高かったが、実際に紹介したことがある件数の割合はPTが一番多かった。

➡ OTは職種による専門性で意識は高いが、在宅リハの経験がない人が多い事が原因か。PTは訪問リハビリの経験をしているスタッフが多い事が影響しているのではないか。

【改善のための取り組み①】

知識不足を改善するため、部署内でサービス内容についての勉強会を開催した。



意見

- ・具体的な利用状況や、詳細を知りたい。
- ・どの職種からの提案が多いのかを知りたい。
- ・手続きの手順を知りたい。

【改善のための取り組み②】

『いきいき健康課』に出向き、サービス内容の詳細、利用・紹介状況の情報収集を実施。



アンケート結果で、誰も紹介していないサービス

- ▶ 給食サービス
- ▶ 愛の一声事業
- ▶ 街かどデイハウス事業

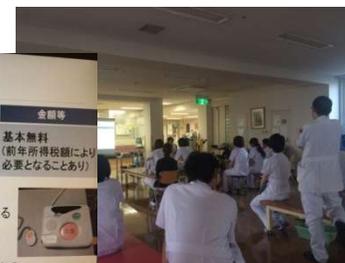
対象の方がいるまもしれこれから、是非活用しま

4. 緊急通報装置設置事業

サービス内容	対象者	金額等
緊急ボタン等の設置 (看護師常駐のコールセンターに通報される)	65歳以上のひとり暮らし	基本無料 (前年所得控額により必要となることあり)

- ▶ 大阪ガスセキュリティーに委託
- ▶ 申請に手間がかかるというデメリットがある
(緊急時の連絡者3人以上のサイン)
- ▶ 原則、NTTの回線のみ
- ▶ 家族、ケアマネ、民選委員からの申請がある

H25年の利用 181人 年々増加傾向だそうです。



アンケート結果と合わせて、再度勉強会を実施。他部署からも参加。

意見

- ・他の地域の情報も知りたい。
- ・介護保険改定後の受け皿になるのではないかと思う。
- ・一人暮らし対象が多いため、利用できる人は限られていると思う。

【今後の課題】

- ☆再調査を実施し、意識・活用度の変化の有無を調査する必要がある。（1年後の今年5月に予定。）
- ☆島本町以外から入院する人のための対応として、他の地域の情報収集。
- ☆地域移行を行っていくためにも、スタッフの意見を町・他職種に呈示していく必要がある。
- ☆介護保険の改定による対策に利用できるかの検討。

【おわりに】

- アンケート結果より、スタッフの在宅での経験が、退院後の生活をイメージする力を向上させている可能性があると考えた。
- 今後、勉強会の継続的な実施やサービスの資料の掲示をしていくことで、サービスの活用を促進し、スタッフが生活をイメージする力を更に高めていきたい。
- イメージの向上が、地域包括ケア病床の連携の構築・質の向上に、重要ではないか。